



11 月号

一校一風 笑顔きらきら

おおねじめのこ



大根占小ブログ

自分と向き合う

校長 末松 雅之

「金色の ちひさき鳥のかたちして 銀杏ちるなり 夕日の丘に」与謝野晶子

大根占小学校の銀杏の木も葉が金色に輝く小さな鳥のような姿で、ひらりひらりと翻りながら落ちていきます。そして、銀杏がたくさん実り、校庭に落ちています。例年より銀杏の落葉は遅いように感じますが、季節の移り変わりを感じます。

調べてみると、イチョウは「生きた化石」と言われ、約2億年以上前から恐竜と共に繁栄してきた植物。氷河期などの気候変動で絶滅しかけ今残っているのは私たちが目にする一種類のみで、絶滅危惧類に指定されているそうです。街路樹としても多く目にしてきたので絶滅危惧種とは、驚きでした。



さて、11月末に行う持久走大会に向けて、子供たちは朝の体力づくりの時間や体育の時間に練習を重ねてきています。大会が近づいてきましたので、道路での試走にも取り組んでいます。2年生以上の児童は、昨年の記録や順位を参考に、1年生は初めての行事ですが、それぞれ自分の目標を立てて練習に取り組んでいます。こつこつと努力する姿に拍手を送っています。

さて、持久走は得意・不得意、好き・嫌いがはっきり別れる種目です。理由は明らかで、長く走ることはきつからずです。練習の成果が分かりにくく、自分の成長を感じられないことも理由に挙げられます。そうすると、練習に熱が入らず、結果がついてこないという悪循環に陥ってしまいます。



よい循環にするために、記録や順位の目標を達成できた場合はもちろん、目標を達成できなかった場合も、こつこつ努力した自分を認め、受け入れることが大事になってきます。また、一人で走っているのではなく、友達と走っていることを感じることも大切です。本校児童の話を紹介します。持久走の練習中に、持久走が苦手な児童に、別の児童が寄り添って応援しながら一緒に走ったそうです。苦手な児童は最後まで走りきることができ、自信を深めることになりました。

かつてマラソンの日本新記録を樹立した大迫傑選手は、次のような言葉を残しています。

「自分と向き合い続けて出した答えは、何かしらの形で自分の糧となっている」

持久走の目的は、同じペースで走り続けて持久力を向上することにあります。きついこと、嫌いなことや苦手なことであっても挑戦し、やりきったあとには達成感や充実感を味わうことができ、自分自身の成長につながると思います。

もちつき大会 (11/8)

毎年恒例のもちつき大会を行いました。例年より1ヶ月早い計画でしたが、天候にも恵まれ無事に実施することができました。これも多くの地域、保護者の皆様の御協力のおかげです。子供たちは、美味しいお餅にみんな大満足で、きらきら笑顔いっぱいでした。御協力ありがとうございました。



認知症サポーター養成講座 (11/6)

3回目の認知症サポーター養成講座は丹野さんとの交流でした。子供たちは、実際に認知症を発症している丹野さんの話を聴き、たくさんの質問をしていました。丹野さんとの交流を通して、認知症サポーターとしてさらに知識を深めることができました。



2校合同修学旅行 (11/12~13)

6年生が知覧特攻平和記念館、平川動物園、維新ふるさと館、天文館周辺の自主研修という行程で修学旅行に行ってきました。自主研修では神川小の子供たちと協力し計画通りに行動できていました。子供たちは、この1泊2日の修学旅行で多くのことを学ぶことができたようです。



秋の1日遠足 (10/14)

1・2年生は大隅青少年自然の家へ、3・4年生は鹿屋市鉄道記念館・デイリー酪農工場・有明農業歴史資料館へ遠足に行きました。友達と一緒に体験活動をしたり、お弁当を食べたり、遊んだり楽しい1日を過ごすことができました。保護者の皆様、お弁当の準備等ありがとうございました。



受賞・入賞おめでとうございます

【令和7年度 森と水の俳句コンクール】

- 最優秀賞 1年 福岡 由唯 「まっくらだ ほたるのひかりで かおみえた」
 4年 今別府結夏 「神川の 滝のしぶきに 虹かかる」
 5年 城下 優帆 「風の音 優しく歌う 花瀬川」
 優秀賞 1年 松原 悠、上村 未来 2年 城下 芯梨、山下 陽咲
 3年 土岩 双葉、厚ヶ瀬 華愛 5年 西村 紅璃

【令和7年度 森と水の写真コンクール】

- 優秀賞 6年 笑喜 穂果 優良賞 3年 宿利原 一希

【令和7年度 税に関する書道コンクール】

- 特選 6年 池添 胡珀、2年 城下 芯梨

【令和7年度 錦江町学校保健会学校健康づくり標語コンクール】

- 優秀賞 1年 山中 奏翔 「てあらい うがいで ばいばいき〜ん」
 2年 城下 芯梨 「すいみんで 明日の元気 つくろうよ」
 3年 厚ヶ瀬 華愛 「あつい日は 水分えん分 大切に」
 4年 小林 駿介 「ねっ中しょう 水分ほきゅうで バリアする」
 5年 城下 優帆 「メディアオフ 家族と笑って 心の充電」
 5年 西村 紅璃 「メディアより 家族と話す 良い時間」
 6年 宮内 瑛多 「ゲームより 大切なのは家族の会話 笑顔が増えるひけつだよ」



12月の主な行事

3日(水)	南大隅高校出前授業	24日(水)	終業式
5日(金)	青少年劇場	26日(金)	仕事納め
13日(土)	土曜授業		